境谷学区

データファイル

- 人　口　6,954人
- 世帯数　2,515世帯
- 面　積　0.692㎢

＊平成17年国勢調査（10月1日現在）

調和のあるまちづくり

境谷学区は西京区の分区に遅れること4年，昭和55年に新林学区より独立し，閑静な住宅地として発展してきました。

当時は住戸も少なく空地が点在し開発途上の状態でした。また，交通の便も悪く通勤には大変苦労しました。洛西ニュータウンは，千里ニュータウンをモデルとし，竹林を開発して造成したまちですので，まだ樹木も小さく晴天が続くと土埃が舞い上がることもしばしばありました。

学区発足より27年，現在は，緑多い静かな住宅地として完成したこの環境を将来に伝えて行かなければならないと思っています。

洛西ニュータウンは，都市計画として大変素晴らしく随所に工夫の跡が見られます。西高東低の傾斜地で水捌けも良く，中央部を帯状に公共施設を配置し，西半分に教育の施設を，東部に官公署やサービス施設を集め，用途に応じた人の流れを創出し，北側を中高層住宅地区に，南側は低層住宅地区として日照に配慮し良好な住いを形成しています。

今後は高齢化に伴うバリアフリー化と中高層住宅の老朽化による再開発が大きな課題であると危惧するところです。

この度，平成18年11月12日，境谷小学校のふれあいパーク事業の東屋造り「ほっこり亭」が完成しました。間口１間半の小さな建物ですが，コンクリートの建物に囲まれた中で，木造建築は一服の安らぎを与えてくれます。

工事には児童をはじめ，多くの方々の協力を得て見事に完成しました。今後はコミュニティプラザ事業活動や子ども見守り隊の待機場所として，また，地域の方々の憩いの場として，学校の屋外諸活動の場等，多方面での利用が見込まれています。これを機会に学校と地域が一層きずなを深め，学区のシンボルとして大いに活用されることを期待しています。

なんじゃもんじゃの木（タウンセンター）
正式名称「ヒトツバタゴ」，5月から6月頃に白い花を咲かせます。

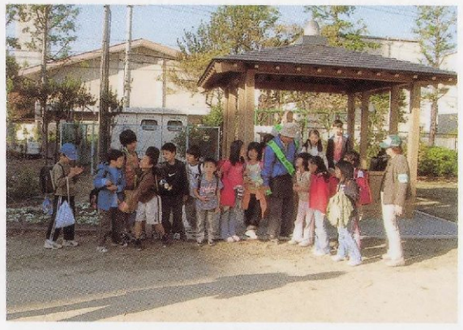
中高層住宅地区（北側地区）

ボランティアの活動の拠点
「ふれあい喫茶ぽぽ」境谷会館内

ラクセーヌと洛西バスターミナル

洛西老人福祉センター

小畑川公園



ふれあいパーク「ほっこり亭」（境谷小学校）